

第15回

のものは
よりも厚い
多い。
もしくは写真が使用されるこ
ラストレー

おのみち【尾道】名広島県の東部に位置する市。
海の距離がとても近く建物が隙間なく並んでいる
から「箱庭都市」と言われることがある。

おのみち

て製本したものが一般的である
代ではインターネットでも楽し
このできらきら子書卒登場して
られる言葉や新しい言葉の使
メモして集めること。
んでどこまで読んだのか記録し
るもの。紙でできたものから金
きたものまで様々なもの
こと。作家が物語を考えて文
にしていく様
つた出来事を
字を使って長い
れ、棒に巻きつ
されているもの。
、文化財にな
るものもある。

を書くときにペンや万年筆に
りて使う。カラフルな色のつ
るものもある。
など一連の物語の題名。話の内
話の軸となる。



おのみち

おのみちりつだいがく【尾道市立大学】名広島県尾
道市久山田町にある大学。経済情報学部、芸術文
化学部、の二学部からなる四年制の公立大学。周
りを山田水源地と山に囲まれ落ち着いた環境で
うことができる。

こうえん【講演】名ゲストが聴衆
に向けて話をすること。演題

はゲストの専門分野であるこ
が多く事前に告知され
ることが多い。



2023年
12月9日(土)

研究発表会 12:30-15:20

公開講演会 15:30-17:30

しまなみ交流館 2F 大ホール (東御所町 10-1)

- ②「辞典は用例が多いのち」者。

①「国語教育と文学の関係をあらためて考える」

ぶんがく【文学】名①文字を扱った芸術作品。本。
②文字や文章を扱った学問。

すいげんち【水源地】名水を貯める場所。水を貯めて
おくことで水不足を防ぐことができる。

ぶんげい 文字や
物語や
状況などを
繋げる

ぶんがくさつか【文学作家】名文学作品を作
る人。

だいがく【大学】名教育機関
分野が別れて
おり、専門的な知識を身につけることが
できる。

神永 晓氏(元小学校辞典編集部編集長)
信木 伸一氏(尾道市立大学日本文学科教授 (国語教育学))

ほん【本】

だいがく【大学】名教育機関
分野が別れて
おり、専門的な知識を身につけることが
できる。

おのみち文学三昧は、「文学の街」尾道で文学の魅力を堪能する、尾道市立大学日本文学科と尾道市立大学日本文学会共催による文学イベントです。尾道市立大学日本文学会大会と公開講演会の二部構成で、第一部では学科所属の学生・教員が日ごろの研究成果を発表します。

公開講演会では、お二人の講師の方に、それぞれ長年携わってこられた言葉・文学に関わる諸事象についてご講演いただきます。どうぞ

ご期待ください。

プログラム

第一部 研究発表会

時間 12:30~15:20

演題① 「言葉に反映される「錯覚」—認知言語学における Fictivity について—」

発表者 高島 彰 氏 (尾道市立大学日本文学科講師 日本語学(言語学))

演題② 「読本『不知火草紙』考」

発表者 藤沢 肇 氏 (尾道市立大学学長 (近世文学))

※この他、学生による研究発表

第二部 公開講演会

時間 15:30~17:30

演題① 「国語教育と文学の関係をあらためて考える」

講師 信木 伸一 氏 (尾道市立大学日本文学科教授 (国語教育学))

演題② 「辞典は用例がいのち」

講師 神永 曜 氏 (辞書編集者 (元小学館辞典編集部編集長))

定員・申込

400人

申込はこちらから



※申込に関する詳細は大学HPをご確認ください。
一般の方は第一部・第二部問わずご参加いただけます。



おのみち文学三昧は、「文学の街」尾道で文学の魅力を堪能する、尾道市立大学日本文学科と尾道市立大学日本文学会共催による文学イベントです。尾道市立大学日本文学会大会と公開講演会の二部構成で、第一部では学科所属の学生・教員が日ごろの研究成果を発表します。

おのみち

文学三昧

第15回

日時

2023年
12月9日(土)

12:30~17:30

※会員の方は 12:00 からの総会もご参加ください。

場所

しまなみ交流館2F大ホール
(東御所町10-1)

※駐車場はありません。

